

人間国宝 山本晃 追悼展



2026年1月31日^土 ▶ 3月22日^日

【入館料】無料 【開館時間】9:00～17:15(入館は17:00まで) 【休館】月曜日、2月3日・11日・24日、3月3日

光市文化センター

光市光井9-18-2 TEL 0833-72-5800

主 催／光市・光市教育委員会・(公財)光市文化振興財団

協 力／山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM



金工作家 山本 晃

(やまもと あきら)

1944年5月27日 ~ 2024年12月28日

金工略歴

昭和62年 日本伝統工芸展NHK会長賞受賞
昭和63年 日本伝統工芸展奨励賞受賞
平成5年 日本金工展鑑査委員(以後3回)
平成6年 日本伝統工芸展鑑査委員(以後3回)
光駅前モニュメント「輝翔の詩」制作
平成25年 日本伝統工芸展奨励賞受賞
平成26年 MOA岡田茂吉賞大賞受賞
重要無形文化財「彫金」保持者認定
中国文化賞受賞
光市ふるさと荣誉市民授与
平成28年 旭日小綬章受章
平成30年 山口県立萩美術館・浦上記念館
彫金のわざと美「山本晃の詩想と
造形」展開催

主な所蔵先

美智子上皇后陛下、文化庁、宮内庁、
東京国立近代美術館、MOA美術館、
式年遷宮記念神宮美術館、大本山薬師寺、
メトロポリタン美術館、広島県立美術館、
山口県立萩美術館・浦上記念館、
光市文化センター

金属工芸としての風格を基盤に更なる新しさを模索しつつ、夢中で創作し続けた生涯でした。

「仕事も趣味も遊びも全て作ること。
ただ楽しくて、楽しくて。」

穏やかな気候に育まれた満ち溢れる自然によって形づくられる無限の象(かたち)は、常に山本にデザインテーマを与えていました。

幾種もの金属のそれぞれに異なる個性を融合させながら創り上げられた山本晃の世界は観るものの心に郷愁と感動、そして伝統工芸のもつ奥深い魅力を語り続けます。



切嵌象嵌接合せ箱「春光」

春の訪れを予感さすやわらかな陽
デザイン化された水仙が作品を引き締める



切嵌象嵌接合せ杏炉「響」

深閑とした樹林の中を、樹々の声が木霊(こだま)する



切嵌象嵌接合せ箱「晩夏」

大胆な造形のトウモロコシの全貌は去りゆく夏の忘れ形見か
蛙の存在が雰囲気と和ます



銀金彩合子「うずら」「おしどり」

ま〜るい合子 何を入れるの? 「あなたの夢を入れてください」

[1月31日(土) 10時オープニングセレモニー開催]

オープニングセレモニー終了後に山本久代様によるギャラリートーク。展示物として数々の金工作品の他、デザイン画や図録など貴重なものも展示します。